

令和3年度 全国公立学校教頭会 ブロック大会報告

- I 大会名称 第49回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会 福井大会
第48回福井県公立小中学校教頭研究大会 福井大会
- II 開催期日・場所 令和3年10月28日(木)
フェニックス・プラザ ハピリン 福井県国際交流会館 福井県教育センター

III 日程・大会の概要

1. 日程
- | | |
|-------|-----------------------|
| 開会式 | 9:30~10:00 |
| 基調提案 | 10:00~10:30 |
| 記念講演 | 10:20~11:50 |
| 分科会 | 14:00~16:20 |
| 閉会の言葉 | 16:20~16:30 (各分科会で実施) |



2. 概要

- (1) 研究主題 「未来を生きる力を育む魅力ある学校づくり」
- (2) 主催 東海・北陸地区公立学校教頭会 福井県公立小中学校教頭会
- (3) 後援 福井県教育委員会 福井市教育委員会 永平寺町教育委員会
福井県小学校長会 福井県中学校長会 全国公立学校教頭会
- (4) 開会行事 ①開式の言葉 ②国歌斉唱(拝聴) ③挨拶 ④祝辞 ⑤閉式の言葉
(基調提案)「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」に必要なこと
福井大会実行委員会研究部長 酒井 睦夫
- (5) 記念講演 演題 『子どもの脳とこころを傷つけない子育てとは』
～日常に潜むマルトリートメント(避けたい子育て)が
脳におよぼす影響～
講師 福井大学 子どものこころの発達研究センター教授 友田 明美 氏
- (6) 分科会 ①教育課程に関する課題 ②子供の発達に関する課題
③教育環境整備に関する課題 ④組織・運営に関する課題
⑤教職員の専門性に関する課題

IV 大会に参加しての感想等

東海・北陸地区大会の令和2年度が紙上開催となり、本年度の福井大会も開催が危ぶまれていたが、全日程を1日とし、福井県(教頭)は参集、それ以外の県はオンラインという「ハイブリット型」の参加方法で行った。全体会(開会行事、基調提案、記念講演)は同時配信、分科会は収録したものを福井県教頭会のHPに格納し後日視聴するなど、福井県、福井市、永平寺町教育委員会、教頭会が映像配信業者等と入念な準備をしてくださったおかげで、このコロナ渦ではあるが、実りある研究大会をやり遂げることができた。福井県の教育長から県をあげて「ふるさと福井」をテーマに、探求学習を通してプレゼンテーション力をつける取り組みに力を入れているという話があった。また、記念講演では幼少期の親から受ける心の傷が子どもたちの望ましい成長に悪影響を与えることについて、科学的根拠を基に示され、児童期(小中学校)での教師の声かけ、励まし、温かい見守りが好機になるきっかけとなることを知った。今後も子どもたちの成長のために、教頭として何ができるか考え実践していきたい。福井県の教頭先生方のみ参加の分科会は、グループ編成も小規模となったが、その分意見交流が活発に行われた。